



權風ゼミ

~高校生と一緒に

島の未来を考えよう~



香川県土庄町

目次

- 1- 土庄町の概要
- 2- 土庄町の課題
- 3- 櫛風ゼミについて
- 4- スケジュール（仮）



1

土庄町の概要

1- 土庄町の概要



【位置】

土庄町は、瀬戸内海国立公園の東部に浮かぶ小豆島の西北部に位置し、東及び南に境を接する小豆島町とともに香川県に属する

【面積】 74.38km²

【人口】 11,619人 ※R7.3.1現在
(男5,485人 女6,134人)

【世帯数】 5,273世帯 ※ R7.3.1現在

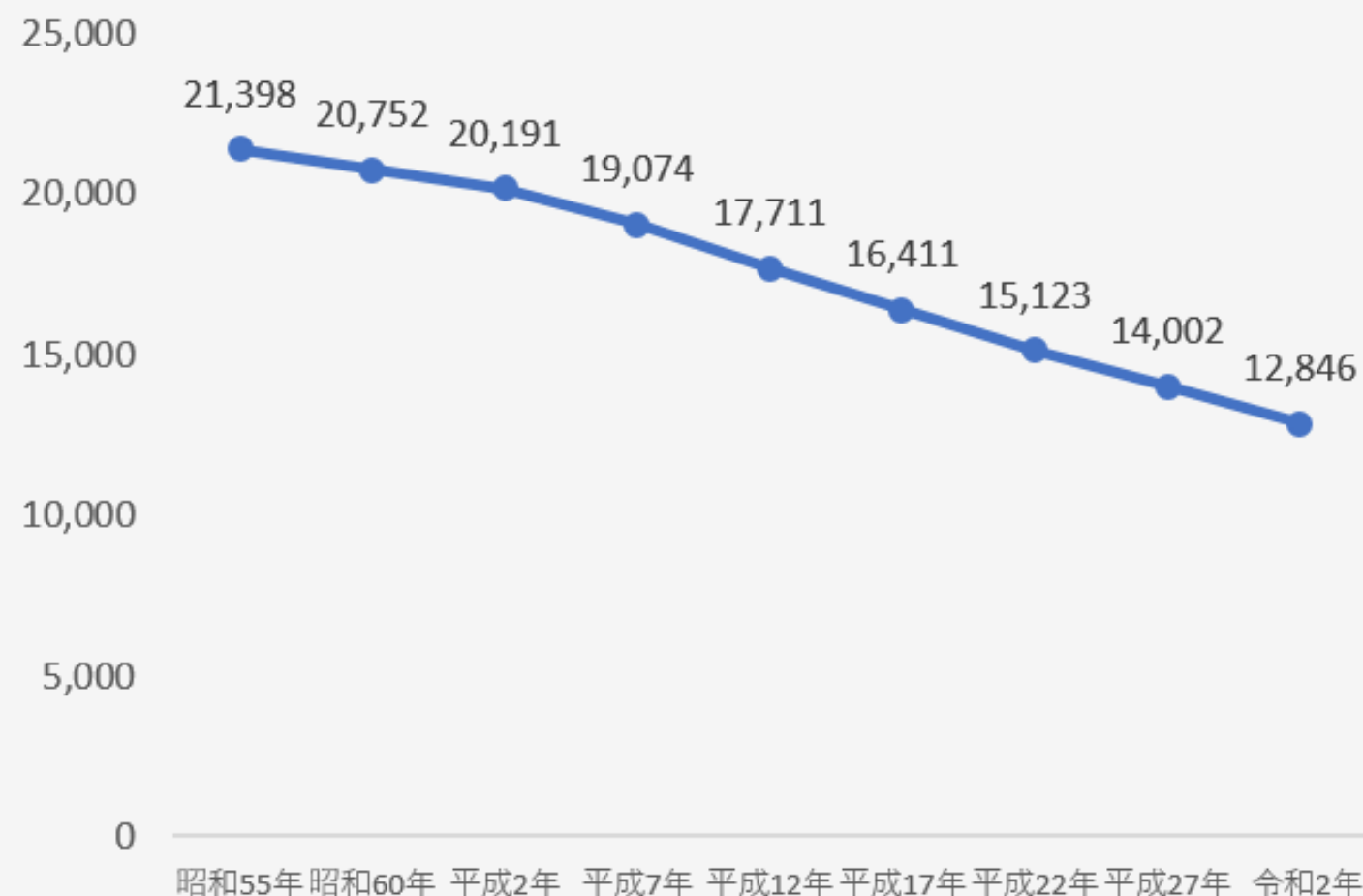
【高齢化率】 42.7% ※R3.4.1現在

2

土庄町の課題

2- 土庄町の課題

【人口の推移】



出典：総務省「国勢調査」令和2年

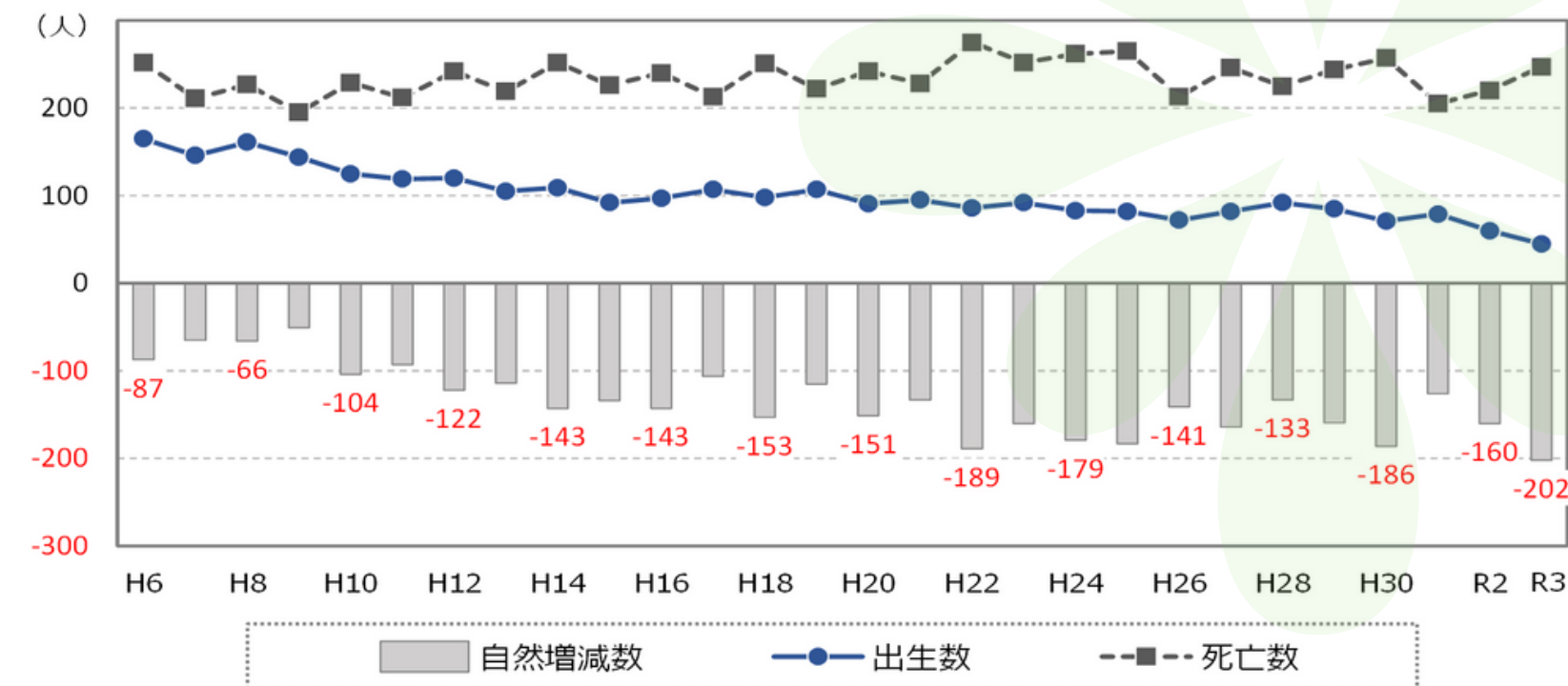
●土庄町の現状と課題

- ①2万→1万2千人まで人口が減少
- ②自然減が増加。

社会増減は、過去10年でほぼ横ばい

- ③出生数が大幅に減少している

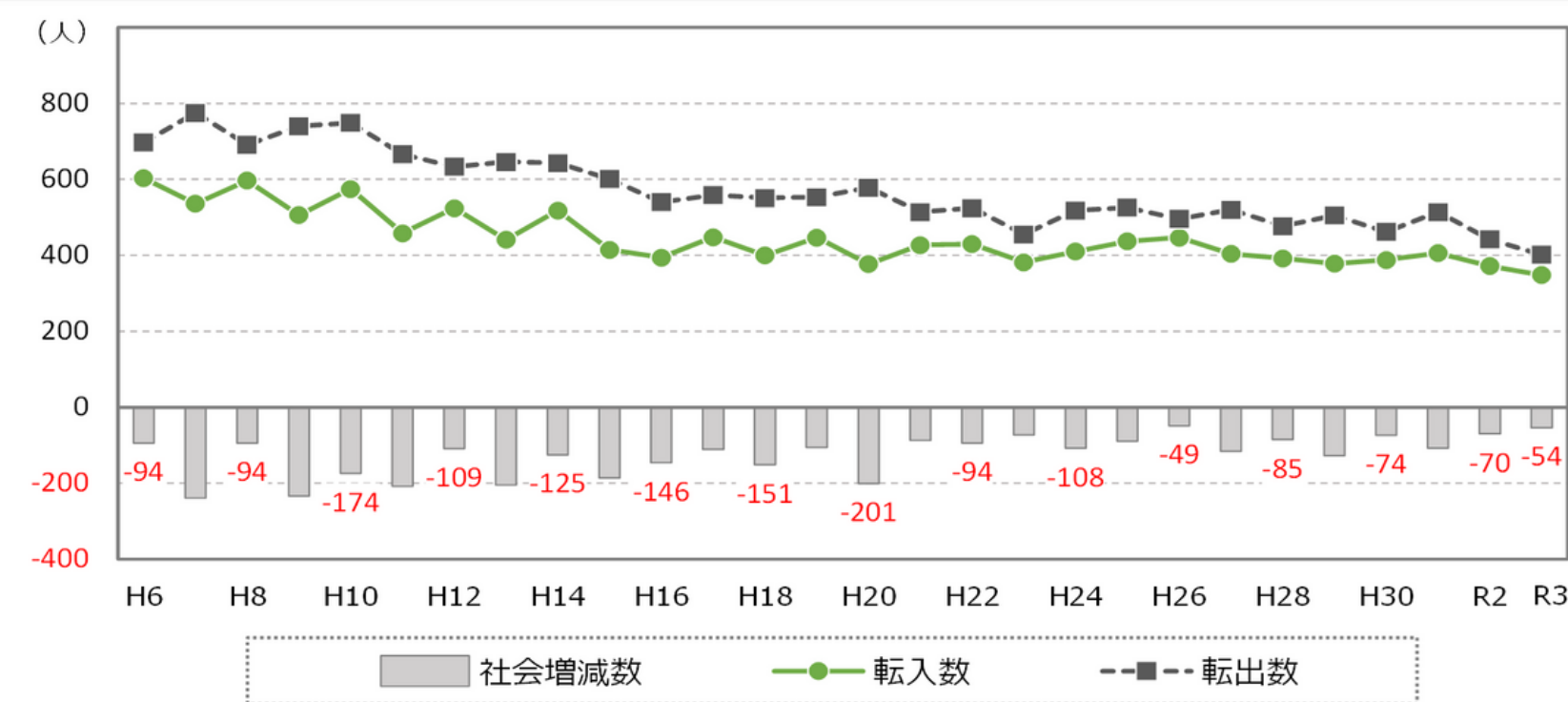
【自然増減の推移】



資料：総務省「住民基本台帳」

※H6～H24は各年4月1日～翌年3月31日、H25～は各年1月1日～12月31日

【社会増減の推移】



資料：総務省「住民基本台帳」

※H6～H24は各年4月1日～翌年3月31日、H25～は各年1月1日～12月31日

2- 土庄町の課題

●土庄町の課題

高校・大学進学を機に島外へ出て行ってしまったため、若年層(10代～20代)の転出者が最も多くなっている。
今後も島内の高校に進学する生徒数が減少してしまうと、島に1つしかない高校の存続が危機的状況に…



高校生と一緒に小豆島中央高校の魅力化について検討し、小豆島の未来に繋がる提案をしよう！！

年齢	転入			転出			転入超過数		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0～4歳	16	9	25	6	8	14	10	1	11
5～9歳	2	3	5	3	2	5	-1	1	0
10～14歳	6	4	10	5	2	7	1	2	3
15～19歳	3	3	6	13	12	25	-10	-9	-19
20～24歳	29	32	61	36	53	89	-7	-21	-28
25～29歳	30	21	51	31	32	63	-1	-11	-12
30～34歳	23	26	49	18	20	38	5	6	11
35～39歳	14	18	32	15	13	28	-1	5	4
40～44歳	11	7	18	12	13	25	-1	-6	-7
45～49歳	8	10	18	7	6	13	1	4	5
50～54歳	12	9	21	10	5	15	2	4	6
55～59歳	6	4	10	8	6	14	-2	-2	-4
60～64歳	5	2	7	4	3	7	1	-1	0
65～69歳	2	5	7	0	0	0	2	5	7
70～74歳	2	7	9	3	3	6	-1	4	3
75～79歳	0	1	1	4	4	8	-4	-3	-7
80～84歳	1	0	1	0	6	6	1	-6	-5
85歳以上	1	10	11	2	7	9	-1	3	2
計	171	171	342	177	195	372	-6	-24	-30

3

權風ゼミについて

3- 權風ゼミについて



行政×高校×企業×地域団体×専門学校

生徒が地域の課題を知り、その課題を分析しながらよりよい地域づくりへの提案を考える活動を通して、地域を中心とした社会に貢献しようとする姿勢を育み、卒業後も小豆島や小豆地域とかわり続けるきっかけをつくることを目的として、総合的な探究の時間「權風（かいふう）」を実施している

3- 權風ゼミ～事例～



ワークショップの実施

高校生と一緒に地域課題について学習し、ワークショップを通じて課題解決の提案まで行っていただきます。

魅力ある高校づくり、地域づくりを行うためには、どのような施策が有効的なのか…

高校生と大学生の若い視点で、柔軟な提案を期待しています。



現地活動（課題の掘り起こし）

高校生とのワークショップを踏まえて、実際に小豆島の観光地などを巡ることで、地域課題の掘り起こしを行います。ワークショップでは個人のテーマを持って行いますが、3月の報告会に向け、東大生の中で1つのテーマに縛ってもらう現地調査となります。



課題解決策の提案

現地活動を踏まえて決定した課題に対する解決策を提案していただきます。昨年度、ご参加いただいたチームは、アート観光の魅力を通じて土庄町への移住者の増加に繋げることを目的に、高校生と一緒にアートマップを作成していただきました。

4

スケジュール

4- スケジュール (仮)

4月

インプット

5月

権風ゼミの始動

6月

事前交流・課題設定〈オンライン〉

7月

現地活動（1回目）

高校生とのワークショップ

9月

オンライン会議など（随時）

12月

現地活動（2回目）

3月

報告会 **〈高校生による成果発表会も現地参加可能〉**

